| 不動産業業況等調査（2025年7月）[*1]

第153号にて配信済み

● 現在の経営状況[*2]

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	**16.1** p	8.0 p ↗
不動産流通業（住宅地）	**20.6** p	19.4 p ↗
ビル賃貸業	**1.2** p	△ 21.0 p ↘

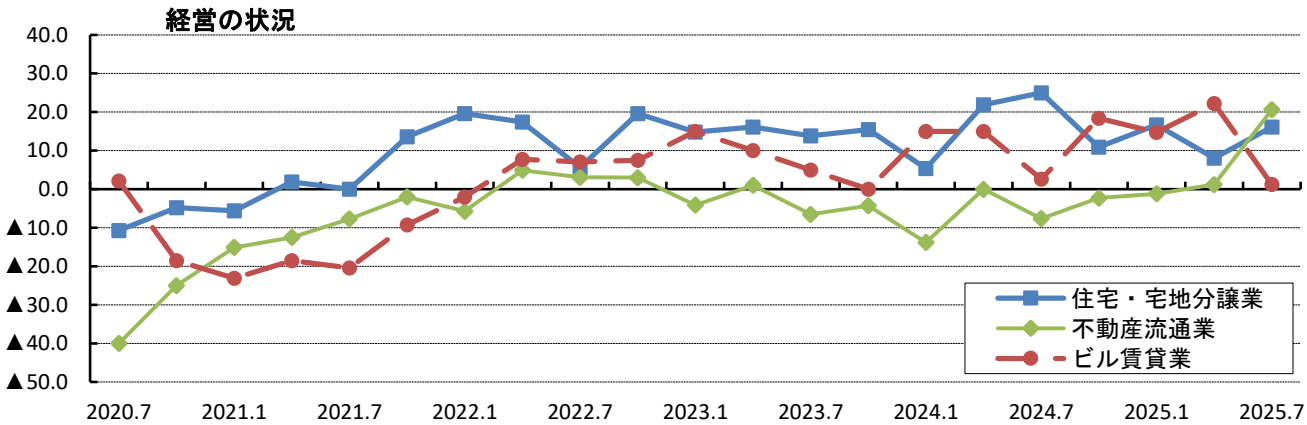
● ３ヶ月後経営状況見通し[*3]

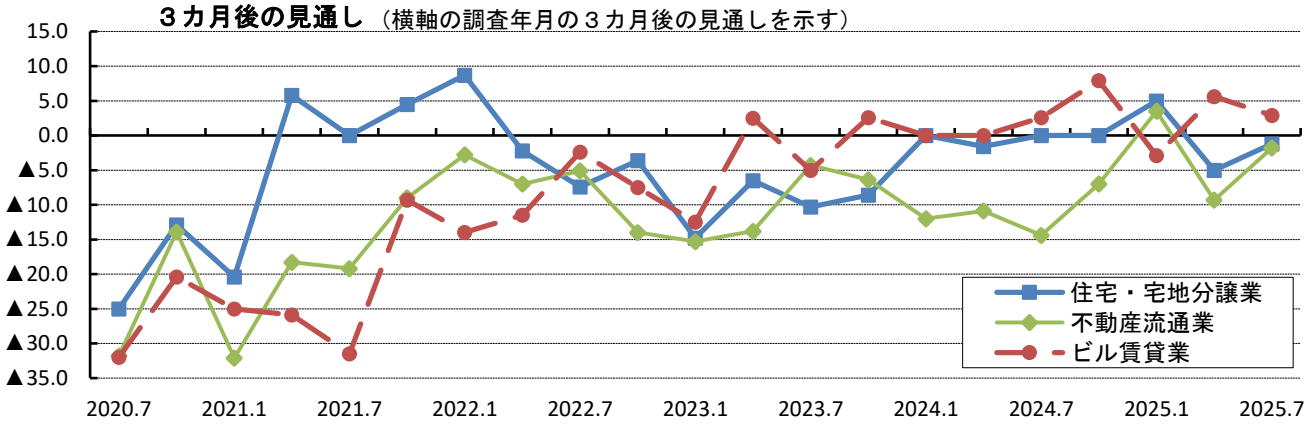
		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ **1.2** p	3.8 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ **1.8** p	7.5 p ↗
ビル賃貸業	**2.9** p	△ 2.7 p ↘

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 8.0p 改善し16.1p。18期連続のプラス水準。
不動産流通業は前回から 19.4p 改善し 20.6p。2期連続のプラス水準。
ビル賃貸業は前回から、21.0p 悪化し 1.2p。13期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定 （-100～+100、0が判断の分かれ目）。
調査時期は毎年1、4、7、10月。
*2 経営の状況＝{(「良い」×2「やや良い」)－(「悪い」×2 ＋「やや悪い」)}÷2÷回答数×100
*3 3ヶ月後の見通し＝{(「良くなる」×2＋「やや良くなる」)－(「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」)}÷2÷回答数×100
（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）





不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第154号「不動産業業況等調査」